

## 「薬物乱用防止教室」実施

12月1日(金)にNPO法人埼玉ダルクによる薬物乱用防止教室を行いました。まず初めにダルクという施設が、薬物使用者のための回復をサポートする施設であることが説明されました。

薬物依存症は、「病気」であり、進行していくと自分自身の力ではどうすることもできなくなっていくこと。依存のきっかけを伝える話では、クイズ形式で「薬物依存になるものはどれか？」という問題が出され、選択肢の「お酒・かぜ薬・鎮痛剤・卓上ガス」が全て当てはまるという結果に生徒たちは大変驚いていました。薬物依存症に繋がるきっかけは、大変身近なところがあり、気をつけなければならないと再認識することができました。

また滑中生の話を真剣に聞く姿が、大変すばらしかったと講師からお褒めの言葉も頂きました。さすがです滑中生！



厚生労働省「薬物乱用防止読本」